



Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第137号 2019年7月発行

## 巻 頭 言

### 作業療法を伝える

#### ～高校生作業療法体験を通して～

広報部 部長

(一財)榛名荘 榛名荘病院 土岐新太

私は、県士会の広報部に携わらせていただいています。自分自身、広報という仕事に最も向いていないのではないかと思わされることは多々あるのですが、ここまで続けてこれられているのは部員の皆さんをはじめ多くの方の支えや関わりがあったからこそだと思われています。

広報部の事業の中で、以前から長く継続しているもので「高校生作業療法体験」があります。「作業療法」や「医療福祉関係の仕事に興味のある」県内の高校生を対象に、夏休みの期間、実際の病院や施設、事業所で働く臨床現場を見学、体験して頂くものです。例年県内の多くのOTの方にご協力頂き、多くの高校生が参加してくれています。

多くの高校生が対象者の方と関わるOTの姿や臨床場面を実際に見学、体験する事を通して、「OTに対するイメージが変わった」「やりがいのある仕事だと思う」等前向きな感想を持って帰っています。自分自身の進路を考える中で「OTになりたいという気持ちが強くなった」という学生もいます。体験を経験してOTとして働いているという方もここ数年で実際にいらっしゃいます。

私自身、県士会のOT体験は経験する事ができなかったのですが(その時はよく知らずに)、それでも進路を考える中で、実際の病院の見学をさせていただき、OTの方が患者さんに関わる姿を見て、OTを目指そうという思いを持ったことを思い出します。日々の臨床にしっかりと向き合う姿、小さな事でもそれがOTを伝える事につながっていくのではないかと思わされます。

ただ、昨今の医療介護関係をめぐる状況の変化の中で、それだけの時間を割いて見学学生の対応をするという事の難しさがある事も承知しています。その中で、見学を受け入れて頂いている施設の方の協力があったからこそ成り立っている事業だという事も実感しています。

また今はOTを伝えるという事にはもっと多くの方法や機会、その可能性が出てきているという事もあると思います。広報部でも様々な取り組みを検討していきたいと思います。是非興味のある方がいれば一緒に参加して頂けたら、様々な新しいアイデアを是非教えて頂けたら幸いです。

OTを伝える事、それが未来のOTにつながっていくのかもしれませんが。見学に来てくれている学生の中から未来のOTが沢山出てきてくれることを願って・・・

# 平成30年度 第5回 理事会

会場：群馬医療福祉大学 前橋キャンパス  
元氣プラザ21内6階 会議室

日時：平成31年1月23日(水) 19:00～21:35

参加者：新井、山口、関根、小林、勝野、高橋、品田、高坂、柴田、市川、長谷川、都丸、唐澤、中嶋(記録者) 計14名

## I. 会長から

1. 長谷川事務局長のご退任と高橋理事の事務局長就任について。  
→承認。
2. 4局制をとることと、副会長4人体制(4局長制)を敷く予定。→承認。
3. 4局体制として「地域局(仮)」を新設することと局長として柴田理事を推薦。→承認。
4. ブロック支部長には理事の任に就いていただく。→承認。  
しかし、上記進めていきたいが、現在の定款は副会長2名。今回の総会で定款の変更、再来年の6月に上記体制を完成させたい。

## II. 各部議事

### 1. 教育部活動報告[報告者:教育部長 今村雄二(孫の手)]

#### 【報告事項】

ブロック長会議 2018/12/21 19:00～21:00 博仁会第一病院

- ①研修会進捗確認
- ②県土会印鑑、保管場所確認 勝野理事・今村・今井副部長・川村
- ③新人症例セッションごと座長選出
- ④次年度の体制に関して  
今村→今井副部長へ引継ぎを行う  
川村研修企画G長→副部長へ  
水上(群リハ)→次期研修企画G長へ  
生涯教育SG 増員予定
- ⑤新システム 資料配布 各自での確認、協会からの指示待ち
- ⑥新規購入物品検討 プロジェクター 互換性が悪くなりつつあり。

#### 研修会報告

- ①2018/12/20 19:30～21:00 群馬医療福祉大学  
基礎研修発達障害領域「発達障害の方の思春期に起こりやすい精神的な問題とその対応について」講師 三枚橋病院 檀原暢氏 会員36名、非会員8名(PT、ST、児童発達管理責任者、障害者施設等)
- ②平成31年1月18日 19:30～21:00 前橋赤十字病院  
基礎研修老年期障害領域「リハビリ職に期待すること～多職種からのメッセージ～」講師 山田圭子氏 ケアマネ介護福祉士1/14時点で21名参加申し込みあり。

#### その他

新システムに関しては、来年度の導入は見送りの様相が強いので頭に入れつつ、行動していく。

#### 【審議事項】

- ①生涯教育受講登録システム登録責任者について  
生涯教育受講登録システム登録責任者は最大2名⇒今までは立澤先生が行っていた。⇒上記管理もPC管理移行に合わせ、生涯教育SG長(第一@櫻井)と生涯教育制度推進委員(柴田)に依頼はどうか。→承認。
- ②2019年度学会について  
日時・会場は2019年12月8日10:00～高崎市総合福祉センター、テーマ「つながりのある作業療法」基調講演は山口昇先生(打診中)。特別シンポジウムは新井会長、堀越啓仁衆議院議員…(提案)OTの現状と展望/職業観-プロフェッショナルリズム/キャリア形成/多職種連携IPW/地域とのつながり方…学会テーマとシンポジストのお考えを参考に3～5テーマを討議形式で行うのはどうか。→承認。

### 2. 広報部活動報告[報告者:都丸直樹、品田さゆり]

#### 【報告事項】

- ①公益事業グループ  
・平成31年1月20日(日)に高崎イオンにて作業療法フェスタ2019を開催。30名のスタッフ(学生ボランティア9名)が参加。来場者は約300名。  
・フェスタをきっかけに、今後イオンモール(株)様と広報のコラボレーション企画を検討中。  
・年度末に部会を開催し、作業療法フェスタを含む事業の振り返りを実施する予定。
- ②ニュース編集グループ  
・1月号のニュースは印刷準備に入っており、1月下旬には会員の手元に届く予定。1月号で今年度のニュース発行は終了となる。  
・次回は年度が変わるが4月号となるため、何か掲載記事等がある場合には3月中旬を目途に送って頂きたい。4月号は今年度同様に各部の前年度の報告などを掲載したいと考えている。内容が決まった際には再度連絡致します。ご協力をお願いします。  
・今後は毎号、ホームページURL(QRコード等)や会員情報の変更用紙を掲載したいと考えている。  
・現在、印刷会社の方へ以前提案頂いた印刷紙の変更について問い合わせを行っている。見積もりが1月号と共に届くので、次回の部会時に報告・検討していく予定。
- ③広報企画グループ  
・OTリーフレットの更新に向けて各グループ長と内容の検討を行いつつ、印刷会社への見積もりの依頼を行っている。  
・継続して他グループとの連携を取りつつ、必要な情報の発信や企画の検討を行う。  
オール群馬について  
・リーフレット作成中。年度末に完成予定。

#### 【審議事項】

- ・後援依頼について、昨年も後援を行った「高崎地域緩和ケアネットワーク」から2/10 市民講座についての後援依頼あり。作業療法士会としても広報につながると考える。(チラシは当日配布)→承認。

### 3. 福利厚生部活動報告[報告者:市川・関根]

#### 【報告事項】

- ①今後の事業計画  
2018年度12月 優秀学生賞依頼開始  
1～2月 新人症例発表表彰企画(仮)開始  
2月初旬 県学会企画会議に参加(学会長に優秀演題賞実施依頼)  
3月 優秀演題賞企画開始  
2019年度4月 新人症例発表会、リレーフォーライフ準備開始(参加者募集など)  
6月 総会(学術奨励賞)  
10月 リレーフォーライフ  
12月 県学会  
3月 優秀学生賞  
未定 ブロック支部企画、ママ会員に向けた支援、特別功労賞推薦
- ②各部のオリエンテーションのスライド作成について  
・雛形完成。各部のグループごとに最大3枚くらいでの作成をお願いしたい。
- ③県学会の優秀演題賞、二次審査のフィードバックの趣意確認  
→学会長・実行委員長に意向を確認し、引き継ぎの段階から福利厚生部も関与していく。
- ④福利厚生部の今後について  
・会員の福利厚生に重点をおいた活動をするにあたり部員の

増員が必要。

⑤県士会保険について

- ・保証内容、約款を再度確認し、県士会ホームページに掲載していく。(からっ風通信にも掲載していく)

【審議事項】

- ・平成29年度の学術奨励賞の表彰は6月予定の総会の時でよいか。→承認。
- ・ブロック支部会議(交流会)での茶菓提供における予算取りの是非(1人あたり500円を検討)→各支部の会議費としてあげるものに該当か。福利厚生部は買い出し担当という形で関与して頂く。
- ・今後福利厚生部内においてグループを作る事について(表彰G・福利厚生企画Gなど)→承認。
- ・部員の増員が必要。各ブロック支部から会議等において選出をお願いしても良いか(特に北中毛)→承認。
- ・学生会員に向けた研修の是非(例:実習に向けたマナー面・接遇面に対する講習)→承認。臨床家としての意見は学生に届きやすいと思われる。イメージしにくい臨床の流れの中でマナー、接遇面を補足的にあるとモチベーションになるか。
- ・学術奨励賞・優秀演題賞の一次審査の移管(学術部へ)→学術部と話を通してから。

4. 地域作業療法推進部活動報告

①地域包括ケア推進グループ(真塩グループ長)

平成30年12月2日(日)群馬県作業療法学会にて宇田英幸氏を講師にお迎えし、一般公開講座を開催した。

②認知症ケア推進グループ(松井グループ長)

平成31年1月26日(土)「認知症ケア資質向上のための研修③～地域での生活を支える認知症支援～」を高崎市総合福祉センターたまこホールで開催予定。現在、事前準備を進めている。

③発達支援推進グループ(北爪グループ長)

- ・「外部専門家配置事業」継続中。
- ・勉強会1/10内容:日本作業療法士協会重点課題研修北爪担当分「就学児の作業療法・発達障害の思春期」(2018,11.10～11実施)伝達。事例検討経過報告。次回3月14日実施予定。
- ・学童保育への作業療法について検討。

④精神科領域推進グループ(加藤グループ長)

- ・平成30年12月27日(木)に第4回グループ会議を開催した。2月2日の研修会の事前打ち合わせと、精神科作業療法の臨床課題について整理した。
- ・2月2日に「意味ある作業とWRAP」を前橋勤労福祉センターで開催予定。現在、事前準備を進めている。

【審議・検討事項】なし。

5. 学術部活動報告[担当理事:李・市川/学術部長:牛込祐樹]

【報告事項】

- ①第21回群馬県作業療法学会の運営支援を行った。
- ②第21回群馬県作業療法学会の実行委員を対象とした、学会運営に関するアンケート調査を実施した。
- ③第21回群馬県作業療法士会の振り返りを行い、次年度以降の学術部として学会運営に関する会議を実施した。

学術研究グループ[グループ長 近藤 健]

【報告事項】

- ①平成30年度の学会支援勉強会を5回開催した。現在の参加者は9名。5名の会員がOT学会(福岡)、3名の会員がリハ医学会に抄録を投稿する準備を進めている。

【審議・検討事項】なし。

学会支援グループ[グループ長 野口 直人]

【報告事項】

- ①第21回群馬県作業療法学会の関連ファイル(後援団体への報告書、財務出納帳等)を作成した。
- ②第21回群馬県作業療法学会の参加者は県士会員140名、他県士会員3名、非会員2名、一般11名、学生8名の合計164名の参加者であった。
- ③第21回群馬県作業療法学会参加者、実行委員会を対象にアンケートを実施した。
- ④上記アンケートを基に学会運営マニュアルの改変作業を行う予定である。
- ⑤総県士会員に対する県学会参加者の割合は例年減少している(第11回:65.1%、第21回:19.2%)。参加者の会員番号を見ると20000～30000番台の出席が少なく、職場・家庭環境などを考慮した学会運営について検討していく予定である(託児所の設置など)。

【審議・検討事項】なし。

機関誌編集グループ[グループ長 糸井 陽祐]

【報告事項】

- ①機関誌「ぐんま作業療法研究Vol.21,2018」を発刊した。今年度より県学会誌の内容を含めて発刊することとした。
- ②県学会のポスター、チラシの印刷業務を行った。

【審議・検討事項】なし。

養成校連絡協議会[担当理事 李]

【報告事項】

- ①4養成校において、臨地実習実態調査中であり、3月とりまとめ予定である。結果は「からっ風通信」、6月の主任者会議で概要、「ぐんま作業療法研究」で詳細を報告する。

【審議・検討事項】なし。

6. 事務局

【報告事項】

- ①2019年度学会会場費の仮払いについて  
2019年度学会の会場費の支払いが必要なため、下記の金額を、事務局から仮払金として処理。  
〔利用日時・金額〕  
12月7日(土)前日準備¥30,440  
12月8日(日)当日¥89,660  
12月8日(日)当日空調費¥9,990 両日合計¥130,090(手数料は利用者負担)
- ②学生会員数  
群馬大学:37名 群馬医療福祉大学:43名 前橋医療福祉専門学校:23名 太田医療技術専門学校:3名 合計106名

【審議・協議事項】

- ・事務所印刷機のリース契約について  
印刷機の不具合があり、修理について手続きしたところ、すでにメンテナンス対象外となり、交換部品もないとのこと。新規印刷機の導入に関してリース契約が必要。見積書(別添1)。今後は大量の印刷に関しては業者発注の方がコスト安の可能性もあるため検討必要。→具体例を出して再度検討。
- ・部員活動に伴う公文書作成について  
下記の各部の部員の活動について、公文書の作成が必要な場合は事務局にて対応することよいか。1)県士会主催研修会の運営スタッフ 2)OTフェスタ等のイベントの運営スタッフ 3)その他理事が必要と認めた場合\*尚、学会実行委員のスタッフについての公文書は、学会運営側で対応。→承認。任意で作成していく。
- ・学生会員への紙媒体での配布について  
学生会員数が100名を超えました。現在の発行部数では学生会員全体へ配布することが難しくなっております。残部数90部程度 PDF配信への切り替えについて

→承認。残部は外交の多い会長、副会長、広報等に分割して配布。学生会員はPDF配信へ移行。

・来年度事務局体制について【事務局の主要業務】図1

・県土会通帳見直しについて

群銀一本化でどうか。郵貯ネットバンキング契約か、郵貯の定期貯金1,500,000はどうするか。→承認。郵貯の1,500,000は群銀口座へ。

#### 【事務局からの連絡】

##### ①来年度予算について

来年度事業の計画と予算案の作成をお願いいたします。予算案については、次回理事会にて確認をいたしたいと存じます。予算案は2018年度のexcelファイルを、事務局よりメール配信いたします。そちらにご作成ください。

##### ②2018年度決算について

2019年3月31日までの事業に関して決算処理を行います。

<ご注意>

- 1) 手持ち金はすべて、口座へ入金してください。
- 2) 2018年度の事業をすべて終了した部署の方は、出納帳(excel)の提出をお願いします。締め切り:2019年3月31日(日)尚、3月30日(土)・31日(日)に事業が予定されている部署はその旨ご連絡ください。日程を再度調整いたします。
- 3) 各部の行動交通費の入力とデータの提出をお願いします。締め切り:2019年3月31日(日)
- 4) 昨年度理事会の行動交通費が各部の行動交通費に入力されていることがありました。理事会の行動交通記録は事務局で管理いたします。各部の行動交通記録には載せないようお願いします。
- 5) 講師の謝金が発生する場合に、計算が合わないことが多くみられます。源泉徴収がされていないことが後から判明することが主要なエラー要因です。該当研修会の後には事務局加藤様へ、源泉徴収の連絡をするようお願いします。教育部のように、常に処理している部署については問題ありませんが、時々研修会を行うような組織では対応に誤りがあるためご注意ください。

#### 7. 臨床実習指導者研修(中・上級)報告[報告者:長谷川]

①研修日時:平成31年1月12日(土)13日(日)

②受講者:介護老人保健施設うらく 佐藤

博仁会 第一病院 柴田

群馬リハビリテーション病院 市川

美原記念病院 中島

群大病院 長谷川

③受講プログラム:別添2参照

④群馬県作業療法士会での研修について

- ・研修会の質疑応答では「各都道府県」で開催することはしていくが、県土会に運営を丸投げすることはない?という旨の回答。
- ・研修会資料は統一したものを使用する。
- ・研修プログラムはすでに決められている。
- ・講師については協会からの協力あり。
- ・詳細は次回の47委員会でのこと。
- ・質疑応答などは文書として回答してもらうよう依頼⇒47委員会資料が出されると

#### 【検討事項】

群馬県での開催について

- ・2019年度の開催についての準備をしていくことについて、県土会の事業としての位置づけ、所轄部署
- ・県土会からの費用持ち出しの可否(来年度予算に反映させるか?)→47委員会の報告を待つ。

#### Ⅲ. その他各部からの連絡事項

災害対応委員会

- ・緊急連絡用のグループトークを作成

次回 2019/3/27(水) 第6回理事会

## 平成30年度 第6回 理事会

会 場：群馬医療福祉大学 前橋キャンパス  
元気プラザ21内6階 104教室

日 時：平成31年1月23日(水) 19:00～21:35

参加者：新井、関根、山口、小林、勝野、高橋、品田、高坂、柴田、市川、長谷川、都丸、唐澤、中嶋(記録者) 計14名

### I. 会長から

精神科作業療法について

ワーキンググループ発足。埼玉県土会での活動を中心に来年度から始動していく。

定款にある「顧問及び相談役」を設置していきたい。他団体の動向を調査して欲しい。

### II. 各部議事

#### 1. 教育部活動報告[報告者:教育部部長 今村雄二(孫の手)]

##### 【報告事項】

研修会報告

1月18日 19:30～21:00 前橋赤十字病院

基礎研修老年期障害領域

「リハビリ職に期待すること～他職種からのメッセージ～」

講師 山田圭子氏 ケアマネジャー 参加者 会員19名

講義1H グループワーク実施。

支出 ¥14,368 - 収入 ¥19,000 -

1月27日 9:30～16:40 群馬医療福祉大学

現職者選択研修(身体障害領域)

①「身体障害領域の基礎知識」 白砂寛基氏

②「急性期の作業療法」 白砂寛基氏

③「回復期の作業療法」 牛込祐樹氏

④「生活期・終末期の作業療法」 小池岳大氏

参加者 会員52名 選択研修としては参加者数過去暦と比し多い。

アンケートでは9割超好反応

支出 ¥153,168 - 収入 ¥208,000 -

<研修会企画グループ>

以下の研修会を企画・運営し、会員に向け研修会案内を発行した。

①現職者共通研修(8テーマ)

9/5 日本と世界の作業療法の動向 新井健五氏

9/5 作業療法の可能性 山口智晴氏

9/5 事例報告と事例研究 近藤健氏

9/5 実践の為の作業療法研究 近藤健氏

8/5 作業療法生涯教育概論 柴田全利氏

8/5 保健・医療・福祉と地域支援 青木裕太氏

8/5 作業療法における協業・後輩育成 平石武士氏

8/5 職業倫理 佐藤由子氏

②現職者選択研修(1回)

1/27「身体障害領域」白砂寛基氏、牛込祐樹氏、小池岳大氏

③基礎研修・自由選択(4回)

11/11 身体障害領域「脳卒中片麻痺に対する上肢機能練習」  
平石武士氏

12/20 発達障害領域「発達障害の方の思春期に起こりやすい  
精神的な問題とその対応について」檀原暢氏

1/18 老年期障害領域「リハビリ職に期待すること～多職種から  
のメッセージ～」山田圭子氏

2/1 精神障害領域「精神科における運動プログラム ～精神疾  
患を持つ人のヘルスプロモーションを考える～」高橋章郎氏

④新人症例発表会 4/22「新人症例発表会 2018」

H30年度の各研修会開催に向けて準備を行った。

平成31年度以降の研修受付システムの変更の準備を行った。

〈生涯教育システムグループ〉

①研修会・県学会参加者の名簿管理を行った。

②日本作業療法士協会への受講シールの申請、管理を行った。

③士会裁量ポイントを該当者に発行、送付した。

④SIG 研修会の受講シールを該当者に発行した。

⑤生涯教育制度についての会員からの問い合わせに対応した。

⑥生涯教育手帳紛失者への対応を行った。

⑦日本作業療法士協会生涯教育制度委員会との協力を行った。

⑧平成31年度以降の研修受付システムの変更の準備を行った。

【審議事項】特になし。

## 2. 広報部活動報告[報告者:都丸直樹、品田さゆり]

### 【報告事項】

①公益事業グループ

・2月28日に実施された合同部会にて作業療法フェスタの振り返りを実施。来場者数は約300名、作製したトートバッグ120個全て配布できた。今回作業療法フェスタの宣伝として、高崎市のフリーペーパー「ちいきしんぶん」の「おでかけ情報」、タウンぐんま(群馬よみうり新聞社)に掲載して頂いた。(共にイオンのHPの案内からの問い合わせにて、掲載料無料)当日の取材としては上毛新聞に依頼し、翌日の新聞にて作業療法フェスタについて掲載して頂いた。(次頁)

・来年度の作業療法フェスタは高崎イオンホールが2019年11月～2020年6月の間は工事予定で使用できない為7、8月辺りに実施する方向で検討中。高崎イオン様で行っているイオンウォーキングをモニタリングし、今後コラボレーションしていく方向で進行中。

②ニュース編集グループ

・現在、新年度4月号の発行準備中。OTフェスタの報告が主になる予定。

・来年度は内容充実化に一層力を入れていく予定。

・広報部に限らず、各部の活動の様子を定期的に会員へ報告する企画を検討している。(会議の様子や研修会準備の様子など)

・広報部内で内容まとめ次第、協力をお願いしたい。

③広報企画グループ

・OTリーフレットの更新、改訂に向けて各グループ長と内容の検討を行いつつ、印刷会社への見積りの依頼を実施。現在、星野印刷様にサンプル作成の依頼を行っている。

・継続して他グループとの連携を取りつつ、必要な情報の発信や企画の検討を行う。

### 【審議事項】

・広報用リーフレット更新に伴い、用紙の相見積を行った(資料1-3)。見積り金額、印刷会社選定について審議頂きたい。について来年度は予算の関係上、県士会ニュースの用紙等変更は行わず、リーフレット作成費に充てる方向で検討している。

## 3. 地域作業療法推進部活動報告

### 【報告事項】

(1)地域包括ケア推進グループ(真塩グループ長)

平成31年度 群馬県地域医療福祉総合確保基金(総事業費601,000円、内士会負担金 151,000円)を群馬県庁地域包括ケア推進室へ申請した(平成31年3月18日付、別紙資料1)。

(2)認知症支援推進グループ(松井グループ長)

①1月26日(土)「認知症ケア資質向上のための研修③～地域での生活を支える認知症支援」を高崎市総合福祉センターたまこホールで実施した。86名(OT:42名、ST:1名、介護支援専門員:12名、看護師:6名、介護士:15名、その他:10名)が参加した。

②3月7日(木)第6回グループ会議を開催した。次年度の活動や役職の配置などについて意見交換を行った。

③平成31年度 群馬県地域医療福祉総合確保基金(総事業費877,000円、内士会負担金220,000円)を群馬県庁地域包括ケア推進室へ申請した(平成31年3月18日付、別紙 資料2)。

(3)発達支援推進グループ(北爪グループ長)

①「外部専門家配置事業」継続中。

②勉強会3・13 内容(参加者11名)

・教員用「行動学習アセスメントシート」について検討

・新規ホームページ検討:jimdo利用し士会HPからリンク予定。問い合わせについては事務局経由とさせて頂く。OTの知恵袋ページにて自助具などを発信予定。次回勉強会にて内容決定。

③学童保育への作業療法について、3/17に講師派遣(北爪)会場:高崎市新町公民館。OT参加者:高坂、勝野、堀越議員

(4)精神科領域推進グループ長(加藤グループ長)

①1月24日県の障害政策課より、平成30年度群馬県地域自殺対策強化事業費補助金(325,000円)の交付決定があった。(別紙資料3)

②2月2日に「意味ある作業と WRAP」を前橋勤労福祉センターで開催した。71名(OT17名)が参加した。同時に、第5回、グループ会議を開催し、次年度の活動等について意見交換を行った。

③3月29日(金)第2回精神障害領域情報交換会を開催予定で準備を進めている。オープンダイアログ研修の伝達を予定している。

(5)その他

①1月25日太田市役所長寿あんしん課より、「認知症初期集中支援チームの検討委員会」に県士会から委員1名の選出依頼があった。理事審議を経て、2月16日堀江病院の今井ひとみ氏を推薦した。

②3月18日(月)群馬大学にて4グループ合同部会を開催した。今年度の事業、決算報告、次年度の事業計画、予算案、人員配置等について検討した。

③3月25日老年病研究所附属病院で開催される、前橋地域リハビリテーション推進協議会に高坂が出席予定。

④今年度で、部長、副部长、グループ長3名が退任予定である。次年度、部長には現地域包括ケア推進グループ長真塩敦士氏(認定NPO法人じゃんけんぼん)、地域包括推進グループ長には小澤貴明氏(公立七日市病院)、認知症ケア推進グループ長には宮寺亮輔氏(群馬医療福祉大学リハビリテーション学部)、発達支援推進グループには現北部担当ブロック長の六本木温子氏(群馬県立小児医療センター)が就く予定。

【審議・検討事項】なし。

## 4. 学術部活動報告[担当理事:李・市川 学術部長:牛込祐樹]

### 【報告事項】

①第21回群馬県作業療法学会の運営支援を行った。

②第21回群馬県作業療法学会の実行委員を対象とした、学会運営に関するアンケート調査を実施した。

③第21回群馬県作業療法士会の振り返りを行い、次年度以降の学術部として学会運営に関する会議を実施した。

学術研究グループ グループ長 近藤 健

### 【報告事項】

- ①平成30年度の学会支援勉強会を7回開催した。5名の会員がOT学会(福岡)に抄録を登録した。3名の会員がリハ医学学会に抄録を登録した。

【審議・検討事項】なし

学会支援グループ グループ長 野口 直人

【報告事項】

- ①第21回、第22回群馬県作業療法学会の役員で引継ぎ会を実施した。
- ②第22回群馬県作業療法学会の運営方針の決定を行い参加費について下記のように決定した。参加費:県士会員:1000円、非県士会員:2000円、他職種・一般・学生:0円
- ③毎年、群馬県作業療法学会に関連する費用を決定しているが一般的な規定を学会支援グループで作成することを検討している。

【審議・検討事項】

他職種、一般、学生の参加費は0円。学会誌(機関誌)を販売しても良いか。→承認。値段は500円程。

機関誌編集グループ グループ長 糸井 陽祐

【報告事項】

- ①1/23(水)、3/18(月)に機関誌編集グループ会議を開催した。
- ②H31年度号発刊に向けて論文募集中。現在1編投稿あり。

【審議・検討事項】なし。

養成校連絡協議会(担当理事 李)

【報告事項】

- ①4養成校において、臨床実習実態調査中であり、現在結果を取りまとめ中である。今後「からっ風通信」・6月の主任者会議で概要、「ぐんま作業療法研究」で詳細を報告する。
- ②次年度の学生組織との交流会を4月21日(日)(新人症例発表会と同時開催)に開催する予定である。

【審議・検討事項】なし。

## 5. 福利厚生部活動報告[報告者:市川・関根]

【報告事項】

- ①優秀学生賞について
- ・来年度から学生表彰受賞者をからっ風通信に記載していく方向で検討(掲載時本人の許可を取る)。
- ②群馬県作業療法学会について
- ・3/20開催の学会引き継ぎ会から参加(設楽部長、小田)表彰、オリエンテーションのスケジュール確認。
  - ・優秀演題賞について査読、一次審査までを学術部に移管
  - ・学会当日の2次審査から表彰までを福利厚生部で運営
- ③オリエンテーションスライドについて
- ・各部からデータを集め、Googleドライブにデータをまとめる。
  - ・例年通り学会等で流す。
- ④リレーフォーライフについて
- ・例年では10月第1土日(10/5~6)に開催か。
  - ・来年度も県士会で参加予定。募集を4月ごろから早めにかけていく。→7月には広報誌、県士会のメーリスで回す、ブロック支部で議題に出していただけるとありがたい。8月中旬~リストアップ。メ切は約一ヶ月前に設定。
  - ・例えばブロック毎に枠を作るなど。
  - ・からっ風通信に記事(巻頭+別記事(参加者の声等))を掲載する。 ※3/22メ切?
  - ・新規参加者を集めるきっかけ、アピールポイントが重要。
- ⑤女性の働き方改革について
- ・情報収集:「技術的な勉強会は遠方で行うことが多いいけない。県内の土日に参加しやすいものがあれば…」「悩みの共有、相談をしたい」「共有の場が飲み会だけでなく、参加しやすい日中の時間である」とい
  - ・短時間勤務、託児所有無など情報があるだけでも違う。情報収集

窓口、まとまった記載があるとい。ex)県士会HPに一覧記載。各病院から募集し、返信があったところを記載?長期的目線で多くの病院から情報を得られると良い。

・ブロック支部に落とし込んでいければ。

⑥その他

- ・学術奨励賞は総会で実施(6/23予定)
- ・次回福利厚生部部会は5月21日19時~予定。

【審議事項】

①群馬県作業療法学会について

- ・県学会一般演題における二次審査の審査内容を発表者にフィードバックするか(柴田学会長)  
→査読者側が教育的な配慮を持ってコメントしてもらう事を前提にしているのであれば、足並みを揃えてフィードバックをしても良いのでは。

②リレーフォーライフについて

- ・広報部との連携も取れると良い。がん主体・拠点病院以外の病院・施設からの参加を促す。 →承認。

## 6. 事務局

【報告事項】

①事務員加藤氏の契約継続について

②印刷機購入に関して 印刷機の購入は見送る方針。

③OT協会費及び県士会費未納者について

- ・OT協会費未納:43名 県士会費未納:34名 ※上記のうち12名が両方の会費を未納  
※事務局より督促状通知郵送済み

④2019年度ブロック支部関連の予算について

- ※2018年度は事務局事業費(総額185千円)から拠出
- ※2019年度、地域局の新設に伴う予算の計上は?

2018年度各ブロックでの主任者会議の経費を基に予算計上、会場費、資料代、行動交通費等について

→支部長から予算を計上して頂く形。地域包括支援推進グループの基金を使って、ブロック長も研修等を通して関わって頂き、県士会と地域の連携を高めていく。(山口)

⑤2019年度 学生会員の取り扱いについて

- ※2018年3月31日をもって現学生会員の資格消失。
- ※学生会員について、継続する場合は再度登録を。

※学生会員へメールにて通知。

※学生会員への県士会ニュース(紙媒体)の配布については次回の養成校連絡協議会にて協議予定。

⑥理事改選について

総会日程について、選挙管理委員会へ通知済み。処理をお願いしているところ。

⑦HP管理者の件HPの管理について、現時点で主に管理している人員。

事務局 長谷川、中嶋 ⇨来年度以降 高橋理事

⑧2019年6月総会について

2019年6月23日(日) 総会

日時:2019年6月23日(日) 13:00~

主任者会議終了後

会場:群馬県公社総合ビル2F第2会議室(100席)

※議案書は5月中旬に作成し、6月上旬発送予定。

議長:未定

議事録署名人:星野有紀(群馬大学医学部附属病院)

書記:中嶋有亮

〈お願い〉

議案書について2018年事業報告及び2019年事業計画についてご作成願います。

期日:2019年5月19日(日)

担当各部へのご周知をお願いします。期日までにご提出お願い致します。

決算；各部署3月末までの取りまとめをお願いします。事務所に提出  
お願いします。出来る限り早くお願いします。最終；4月末まで。

②同日開催 部門代表者主任者会議 議題について  
部門代表者主任者会議 議題について(ご提案)

- 0) 受付開始…………… 9:30～
- 1) 会長から 近況報告等 30分 …………… 10:00～10:30
- 2) ブロック支部担当別のご報告(10分×3ブロック)  
…………… 10:30～11:00
- 3) 地域作業療法推進部からの伝達事項 …… 11:15～11:30
- 4) ブロック支部別の打ち合わせ・交流会  
…………… 11:30～12:30→30分切り上げ
- 5) 2019年度学会会長挨拶 …………… 12:30～12:40
- 6) 事務連絡…………… 12:45～12:50
- 総会…………… 13:00～13:30→13:00終了に

※会場の予約時間帯⇒ 9:00～15:00

※会場設営の準備⇒ 9:00～9:30 5～6名ほど準備にお手伝い  
ただけると助かります。

#### 【審議事項】

- ①定款変更 議案書の件  
→定款「種別」のみ変更。副会長に事務局長を含める。「役員  
の職務」は変更無し。
- ②予算計上の2019年度分は事務局(柴田理事)で作成。2019年度  
決算報告、2020年度予算についてはブロック支部部長(理事)が  
行うことでよいか？  
→承認。

### Ⅲ. その他各部からの連絡事項

次回 2019/5/22(水) 第7回理事会

## 2019年度 第1回 理事会

会 場：群馬医療福祉大学 前橋キャンパス

K' BIX元気21まえばし内6階 104教室

日 時：令和元年5月22日(水) 19:03～20:25

参加者：新井、関根、山口、小林、勝野、李、高橋、品田、高坂、柴  
田、市川、長谷川、都丸、唐澤、中嶋(記録者) 計15名

#### I. 会長から

特記事項無し。

#### II. 各部議事

##### 1. 広報部活動報告[報告者:都丸直樹、品田さゆり]

###### 【報告事項】

###### 1) 公益事業グループ

- ・昨年度同様に各イベントを実施予定。
- ・高校生一日体験を7月29日から8月9日の日程で実施予定。
- ・ふれあいバザー展、健康フェスタも例年通り参加予定。作業  
療法フェスタに関しては例年実施している年始は高崎イオン  
様が工事の為使用できない為時期や方法を検討し、実施方  
向で検討中。

###### 2) ニュース編集グループ

- ・現在7月号の発行準備中。ニュース内容について今後も提案  
等ご協力いただきたい。(特に巻頭言執筆依頼を検討中)。発  
行は従来通り7月後半の予定。

※7月号にて県士会の各部署紹介を検討している。各部の活動  
内容ややりがい等を紹介し、諸活動への参加を促せたらと考  
える。報告・宣伝等ある場合は是非、6月25日までにニュース  
編集担当者へデータの送付をお願いします。(別紙資料参照)

###### 3) 広報企画グループ

- ・県士会リーフレットの改定に向けて業者に確認しつつタイ  
ムテーブルの作成を行っている。
- ・広報部内のグループと協力し情報収集を行っている。

【審議事項】無し

##### 2. 地域作業療法推進部活動報告

###### 【報告事項】

###### 1) 地域包括ケア推進グループ(小澤グループ長)

- ①グループ長が真塩敦士氏から小澤貴明氏へ変更となった。

②平成31年3月31日付で、平成30年度群馬県地域医療介護総  
合確保基金事業(介護分)の事業実績報告書等の資料を県  
の地域包括ケア推進室へ提出し、補助金の交付決定通知  
(329,000円)があった。

③平成31年4月11日(木)群馬医療福祉大学にて、第1回グル  
ープ会議を開催した。今年度の年間スケジュールや事業等につ  
いて確認した。

④令和元年5月13日(月)群馬医療福祉大学にて、第2回グル  
ープ会議を開催した。研修会実施に向けた役割分担、動きにつ  
いて確認した。

###### 2) 認知症支援推進グループ(宮寺グループ長)

①グループ長が松井紀子氏から宮寺亮輔氏へ変更となった。

②平成31年3月31日付で、平成30年度群馬県地域医療介護総  
合確保基金事業(介護分)の事業実績報告書等の資料を県の  
介護高齢課へ提出した。現在、補助金の交付決定通知を待つ  
ている状況である。

③令和元年5月21日(火)群馬医療福祉大学にて、第1回グル  
ープ会議を開催予定である。今年度の年間スケジュールや事業  
等について確認する。

###### 3) 発達支援推進グループ(六本木グループ長)

①平成31年4月21日(日)高崎市総合福祉センターにて、第1回  
グループ会議を開催し、今年度の年間スケジュールや事業等  
について確認した。

②今年度のグループ長兼北部ブロック担当は六本木温子氏、会  
計は北爪浩美氏、中部ブロック担当は山口敦子氏、東部ブロ  
ック担当は今井貴子氏、西部ブロック担当は勝野恵氏、HP担  
当は福山竜司氏となった。

③令和元年5月9日(木)anomiraにて勉強会を開催した。(内  
容:HP内容検討。11月頃に発達G主催の研修会を検討。参加者  
11名。)次回7月11日(木)を予定している。

###### 4) 精神科領域推進グループ長(加藤グループ長)

令和元年5月21日(火)群馬医療福祉大学にて、第1回グル  
ープ会議を開催予定である。今年度の年間スケジュールや事業  
等について確認する。

###### 5) その他

部長が土屋謙仕氏より真塩敦士氏へ変更となった。

【審議・検討事項】なし。

### 3. 学術部活動報告[担当理事:李・市川 学術部長:牛込祐樹]

#### 【報告事項】

1) 第22回群馬県作業療法学会の運営支援を行った。

【審議・検討事項】なし。

学術研究グループ グループ長 近藤 健

#### 【報告事項】

- 1) 県学会一般演題、ぐんま作業療法研究の査読員の依頼をした。33名から承認が得られた。(選定基準は、修士、博士、認定 OT)
- 2) 新人症例発表会、県土会広報誌に今年度の学術部勉強会の案内を掲載した。

【審議・検討事項】なし。

学会支援グループ グループ長 野口 直人

#### 【報告事項】

- 1) 第22回群馬県作業療法学会実行委員会に参加、各種活動の支援を実施した。
- 2) 第22回群馬県作業療法学会のHP、予算案等の作成を開始した。

【審議・検討事項】なし。

機関誌編集グループ グループ長 糸井 陽祐

#### 【報告事項】

- 1) 令和元年度 機関誌編集グループ会議を開催した。
- 2) 令和元年度号発刊に向けて、論文募集を行った。

【審議・検討事項】なし。

養成校連絡協議会(担当理事 李)

#### 【報告事項】

- 1) 臨地実習実態調査の結果がまとまった。177名から回答があり、集計が終了した。今後会員向け結果報告を予定している。
- 2) 学生組織との交流会を4月21日(日)(新人症例発表会と同時開催)に開催し、学生代表 26名が参加した。
- 3) 6月下旬をめどに、4養成校担当教員が集まる予定である。主に臨地実習指導者研修における養成校の役割について話し合う。

【審議・検討事項】なし。

### 4. 教育部活動報告

#### 【報告事項】

1) ブロック長会議

教育部新体制

部長:今村(孫の手)⇒今井(日高HP)

副部長:今井⇒川村(第一HP)

研修会企画G長:川村⇒水上(群リハ)

生涯教育G長:櫻井(第一HP)

会計統括:山之内(わかばHP)

2) 研修会報告

新人症例発表会 平成31年4月21日(日) 9:30~16:30

高崎総合福祉センター

会員111名 新卒26名 非会員1名 学生3名(計141名)

現職者共通研修「事例報告」「事例検討」

・発表者49名 座長11名 4会場にて行う。

・昨年と同会場であり、前日準備や当日の作業もスムーズに行えた。

・終了しスタッフ撤収後に、会場職員より施設のパソコンケーブルが未返却と連絡あり。今回も多くの備品を会場施設から借りていたが、返却時の確認を行っていなかった。今後の対策として①OT撤収前に施設職員に確認作業を依頼する。②県土会所有物にタグをつけておく、など。今後の課題として次回の会議で検討する。

・優秀演題賞の候補ではないが、発表が素晴らしかったので受賞となった方が1名あり、仮の賞状を急遽用意していただいた。優秀演題賞者 5名

【参加費】	会員	500円×126名=	63,000円
	非会員	1000円×1名=	1000円
		合計	64,000円
【支出】	施設使用料(備品レンタル含)		74,030円
	冊子作成代		99,193円
	弁当・飲み物代・座長お礼		31,971円
		合計	205,194円

【審議事項】特になし。

### 5. 福利厚生部活動報告[報告者:市川・関根]

報告事項・審議事項無し。(部会非実施のため)

### 6. 事務局

#### 【報告事項】

1) 運転と作業療法特設委員会 委員長の交代について

現:安原寛和 氏(前橋赤十字病院)

新:原大地 氏(前橋赤十字病院)

委員長の交代に伴い、OT協会の運転と作業療法委員会協力者についても、原氏へ交代。

2) 第4回部門代表者主任者会議 開催について

次第:別紙参照

当日の配布資料については、6月17日までにデータ提出いただければ、事務局で印刷をする。それ以降については、各自で持参。参加人数が決まり次第部数の連絡をいたします。

【お願い】会場設営の準備にお手伝いいただける方は8:45会場へお越しください。

会議資料等の搬入作業をお手伝いいただきたく存じます。

3) 2019年4月OT協会強制退会者12名

5月末までに2018年度2019年度を支払うことで復会可能。

4) 臨床実習指導者講習会について

群馬県作業療法士会からの推薦枠5名

新井会長

関根副会長

山口副会長

高橋理事

勝野理事

5) 総会に関して

総会資料:理事会当日に配布いたします。

各部の部長の出席の確認と、各委員会の委員長の出席確認を理事の方は必ずお願いします。不在の場合、代理を立ててください。

6) 改選について(敬称略)

会 長1名

新井 健五(介護老人保健施設 ミドルホーム富岡)

副会長2名

関根 圭介(公立藤岡総合病院)

山口 智晴(群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部)

事務局長1名

高橋 久美子(介護老人保健施設 群馬老人保健センター 陽光苑)

理事10名

市川 亮太(群馬リハビリテーション病院)

今村 雄二(株式会社 孫の手)

小此木 諭(訪問看護ステーションまつかぜ)

勝野 恵(群馬県看護協会 訪問看護ステーション高崎)

高坂 駿(群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部)

柴田 全利(第一病院)

都丸 直樹(株エムダブルエス日高 吉井総合介護センター)

村井 達彦(訪問看護ステーション花あかり)

山浦 卓哉(公立七日市病院)

李 範爽(群馬大学保健学研究科)

監事2名

唐澤 一男 (中之条町介護老人保健施設 ゆうあい荘)  
小林 夏子 (自宅)

7) 2019年度学生会員入会状況について  
2019年5月20日現在: 110名  
群馬大学: 38名  
群馬医療福祉大学: 46名  
前橋医療福祉専門学校: 23名  
太田医療技術専門学校: 3名

#### 【審議事項】

1) 運転と作業療法特設委員会 担当理事について  
6月23日以降の理事改選後に再度選出

### 7. 財務部

#### 【報告事項】

- 1) H30年度決算について
- ① 単年度収支法人化後初めてプラス(¥659,480)となった。
  - ② 監事より: 予算建てを行い、活動しているものについては、会計処理を行う
  - ③ 勘定科目について 科目の分け方が部によって違うので統一していきたい。
- ・ 事業運営費: 研修会やイベントなどを行うための費用。配布資料、講師謝礼金、講師交通費、事業開催日の飲食代等
- ・ 通信費: 引き落としや振込手数料、郵送料、はかき・切手代等
- ・ 印刷費: 会議等での資料印刷費、印刷紙、インク代等
- ・ 消耗品費: 文具・事務用品等、おおよそ1万円未満の物
- ・ 備品費: パソコンやその周辺機器等、おおよそ1万円以上の物
- ・ 会議費: 茶菓子代等、会議に用いた費用

・ 会場借上費: 会場・会議室の使用料金

※ 領収書のないものは認められない

④ 講師謝礼金について

2) OT協会の休会者について

3) 県士会費未納者について

・ 事務局での報告事項にもあったが、協会退会者12名 督促状を出した。

・ 5/7引き落としできなかった会員へ振込依頼、滞納者に督促状を出した。

#### 【審議事項】

1) 講師謝金に関して、県の事業の場合は、県の規定に従い支払うものとする

2) 休会について→県士会は現在休会規定を設けていない  
今後休会規定について検討行うものとする

#### 【連絡事項】

1) 次回 臨時理事会

2019年6月23日(日)総会後 12:30~14:30まで

次回 2019/6/23(日) 臨時理事会

# 仕事も遊びも大切にしたい方!!

## 勤務地・仕事内容

前橋・高崎・渋川・伊勢崎エリア  
訪問看護ステーションからのリハビリ業務

## 勤務形態/勤務時間

- 正社員 / 8:30~17:30
- 準社員 / 8:30~17:30のうち4.5時間以上  
小学校卒業までの子を持つ親または  
同居家族の介護を行っている場合
- パート / 8:30~17:30のうち3時間以上

## 給与

基本給+資格手当+実績手当  
260,000円~ (準社員・パートは勤務時間により変動)  
経験考慮いたします

## 休日・休暇

- 年間120日以上
- 土・日・祝日(成人の日は除く)
- 夏期休暇、年末年始
- 特別検診等休暇、参観休暇、介護楽しんで休暇、  
パパ産休などの独自の特別有給休暇

## 待遇・福利厚生

- 各種保険加入 ■ 退職金制度
- 賞与年2回(昨年度実績)
- 研修参加補助金制度
- マンツーマン指導あり

働き方改革への先進的な取り組みで  
国や県からの受賞多数。

● お問い合わせ先

ココロ  
**Coco-Lo**  
http://coco-lo.net/

〒376-0011  
群馬県桐生市相生町2丁目261-3

☎0277-55-5422 担当:しかぎ

受付時間/8:00~17:30(土・日・祝休)

ぜひ一度  
弊社ホームページを  
ご覧ください!

COCO-LO

検索

## 第22回 群馬県作業療法学会 ワークショップ がんリハビリテーションのお知らせ

### テーマ

### 「がんリハビリテーション-基礎から臨床実践・研究まで-」

近年、がん治療の進歩により、がん罹患された方の生存率は向上しております。一方で、がんの症状や治療の有害事象(副作用)に起因する様々な障害を抱えながら生活されている方も増えております。国の施策では、2006年に「がん対策基本法」が成立し、2010年には「がん患者リハビリテーション料」の新設、2016年には「がん対策基本法」が改正され、「第3期がん対策推進基本計画」が策定されております。このような背景の中、がんや治療に起因する障害に対し、作業療法士等のリハビリテーション職種が介入する機会は増加していくと予想しております。

しかし、がん分野でリハビリテーション職種の知名度は十分とは言えず、作業療法士がチーム医療の一員として、どのような役割を担うべきか悩むことは多いのではないのでしょうか？臨床の現場で孤軍奮闘しながら、日々対象者と向き合っている作業療法士も多いのではないかと考えております。介入内容や評価手法の模索、他職種や地域との連携、エビデンスを確立するための研究等、課題は山積みであると感じております。

第22回群馬県作業療法学会のワークショップの1分野として、がんリハビリテーションをテーマとした内容を企画し、現在、準備を進めているところです。限られた講義の時間ですが、基礎から臨床実践・研究まで、作業療法の内容を中心に展開していく予定です。このワークショップが、群馬県内(或いは北関東信越ブロック内)で、がん分野に関心のある作業療法士のネットワーク構築の一助になればと考えております。参加を期待しております。

◎講師：藤井洋有 公立藤岡総合病院、専門作業療法士(がん)

堀越晃子 太田記念病院、作業療法士

◎座長：柳井亮人 群馬県立がんセンター、作業療法士

◎日時：令和元年12月8日(日) 13:50～14:50

◎場所：高崎市総合福祉センター 第1会議室

## 求むっ!! バスケ好き



地域作業療法推進部精神科領域推進グループでは、『ドリームバスケットボールキャラバン19-20 in 群馬』の開催を応援しています。

当キャラバンでは、精神障がい者バスケの普及や精神障がい者を有する方の社会参加、精神障がいの理解促進等を目的とし、バスケを通じた交流会を行っています。

従事する領域問わず、「バスケがしたいです...」という方のご参加をお待ちしています！(ご同僚、ご家族、ご友人も是非どうぞ)

日時：2019年8月24日(土)

【受付】12時30分～、【交流会】13時～16時

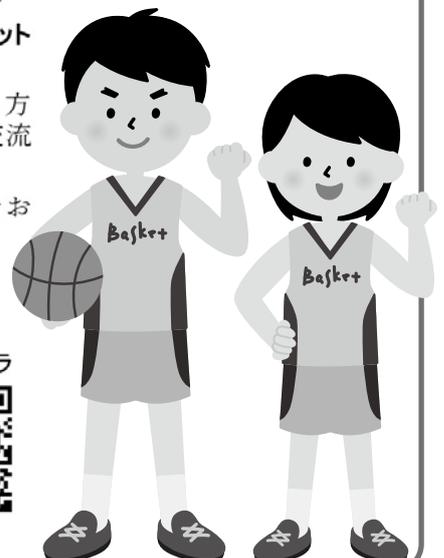
場所：ヤマト市民体育館前橋

参加費：無料

申込み：2019年8月17日(土)まで(当日参加も可)

詳細は日本ドリームバスケットボール協会HPや  
配布チラシをチェック!!

詳細はコチラ



# 学術研究グループ 学会支援報告

第53回日本作業療法学会に5名、第3回日本リハビリテーション医学会 秋季学術集會に2名の會員が学術研究グループの支援を受けて発表します。

日本作業療法士学会2018年9月6日(金)～8日(日)  
福岡国際會議場/福岡サンパレスホテル&ホール

口述

川田 佑奈(公立藤岡綜合病院)

「急性期脳卒中患者における麻痺した利き手の使用頻度と上肢機能評価の關連」

ポスター

佐藤 里沙(榛名莊病院)

「回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中患者における  
トイレ使用自立の予後予測—FIM認知下位項目に着目した分析—」

堀越 晃子(太田記念病院)

「作業療法介入は終末期がん患者のADLやQOLに良い影響があるか? —介入前後比較による検討—」

栗本 はるか(渋川医療センター)

「転移性骨腫瘍による対麻痺を呈した症例のADLとQOLの変化」

野村 和也(沼田脳神経外科循環器科病院)

「急性期脳卒中患者における退院時身体拘束使用の予測因子」

日本リハビリテーション医学会2019年11月15日(金)～17日(日)  
静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

ポスター

下境 美紅(沼田脳神経外科循環器科病院)

「急性期脳卒中患者における患者の身体拘束継続の予測因子」

土屋 公亮(沼田脳神経外科循環器科病院)

「急性期脳卒中患者における入院時の身体拘束が退院時FIMと転帰への影響」

研究デザイン、統計処理、抄録・ポスター・スライド作成など学会発表に関わることは  
随時相談を受け付けています。

担当 近藤 健(公立藤岡綜合病院)、李 範爽(群馬大学)

連絡先:n-reha@fujjoka-hosp.or.jp



# 新人優秀演題賞が決定しました!

新人症例発表会が平成31年4月21日日曜日に、高崎市総合福祉センターにて執り行われました。熱のこもった発表が行われ、厳正な審査によって、5名が新人優秀演題賞に選ばれました。

新人優秀演題賞は、会員の優れた学会発表演題を賞することによって、新人症例発表の学術的意義を高め、臨床業務や研究への意欲の向上、促進を図ることを目的としています。

群馬県作業療法新人症例発表演題のうち、多くの支持を得られた口述発表の発表者に対して贈られます。

## 【新人優秀演題賞受賞者】

医療法人中沢会 上毛病院 羽子田 隼兵さん  
公益財団法人 脳血管研究所 美原記念病院 菊池 文佳さん  
公立七日市病院 土屋 明日香さん  
イムス太田中央総合病院 佐取 杏菜さん  
伊勢崎福島病院 桑原 春香さん



## 【受賞者の声】

### 医療法人中沢会 上毛病院 羽子田隼兵さん

「今回このような素晴らしい賞を受賞できたのは職場の先輩を始めとし、症例として関わらせて頂いた患者様、病棟看護師の方々の協力があったからこそです。今後も自分が作業療法士として患者様の為に何が出来るかを考えながら日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。」

### 美原記念病院 菊池文佳さん

「今回はこのような賞を頂き、大変嬉しく思います。協力して下さった症例の方を通し、多様な視点からのアプローチを考えることが出来、貴重な機会となりました。今回の経験を今後の臨床に繋げていきたいと思えます。」

### 公立七日市病院 土屋明日香さん

「このような名誉ある賞を受賞する事ができとても驚いています。症例発表につきましては先輩方や周りのスタッフの皆様を支えられここまでまとめる事ができました。今回の発表で頂いたご指摘や経験を今後活かし、より良いリハビリテーションが提供できるように精進してまいります。」



文責 群馬県作業療法士会 福利厚生部 小田俊一

## 伊勢崎福島病院

### 【病院の概要】

当院は1952年に伊勢崎市の中心部に開設され、今年で67年という歴史ある病院です。2013年に現在の場所に新築移転し7年目を迎えます。

周辺には田畑や住宅、高校等の公共施設も多くありますが、景観を遮るものがなく、リハビリ室から見える群馬のシンボル・赤城山は裾野まで一望でき圧巻です。

全病床数232床（一般病棟137床、医療療養病棟95床）。『地域と時代に適応した医療の提供』の基本理念のもと、急性期の患者様はもちろんのこと、高齢化が進む現代において、比較的長期にわたる慢性期・維持期までの包括的なサービスを行っています。

### 【リハビリテーション部門】

理学療法士11名、作業療法士10名、言語聴覚士2名。

脳血管リハビリテーション料（Ⅰ）、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）、呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）を算定しています。

### 【作業療法部門の紹介】

当院の患者様は大半が高齢で、複合的な疾患を抱えている方も多くいらっしゃいます。そのため、長期入院される方もおり、周辺地域の受け皿的な役割を担っていると感じています。

自宅退院される方はもちろん、施設入所となる方、入院継続される方においても、それぞれの今後の生活を見据えたアプローチを心掛けています。また、部門内での勉強会や代行を通じ、質の向上に努めています。

病院という限られた環境の中においても、少しでも他者交流にて刺激や楽しみの提供ができるよう、集団的個別練習として、共同での作品作りやレクリエーション活動も取り入れています。

また、関節リウマチの専門医がおり、生物学的製剤治療や手術等の治療も多く行われているため、術後の管理や早期リハビリテーションもチームで連携をとりながら行っています。

昨年からは、「リハビリファーム」と名付け、農業経験のある患者様からも知恵をいただきながら園芸療法を始めました。

療養病棟では、病棟スタッフと協力し抑制ゼロを目指した取り組みを工夫しながら行っています。

若手から子育て世代と幅広い年齢層のスタッフがおり、それぞれのライフスタイルに合わせて「お互い様」の精神でフォローし合いながら働いています。仕事だけでなくプライベートも大切にしながら、日々笑顔で頑張っています。



# 部署紹介



執筆者 ▶ 事務局

## 》事務局

### 部署紹介

#### 【主な活動内容】

- ① 会員管理全般
- ② 名簿の作成・管理・発行
- ③ 県士会ホームページ管理・運営
- ④ 総会の運営
- ⑤ 理事会議事録の作成
- ⑥ 公文書等の発行・文書管理・各種書類の発送
- ⑦ ブロック支部組織強化事業
- ⑧ 新規事業の立ち上げ準備等
- ⑨ メール問い合わせの対応
- ⑩ 地域包括支援事業に関する問い合わせ、OT派遣要請の連絡対応 など。

【部員数 2018年度】：6人。

### 平成30年度活動報告

- \* 県士会HPのリニューアル
- \* 第3回主任者会議の開催。
- \* 総会の開催。
- \* 理事会の開催。
- \* 会員管理

### 平成30年度の抱負

本年度は事務局長が交代いたします。  
実習指導者講習会やその他、色々な事業が立ち上がり、より県士会の活動が重要になる年となります。ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

### 県士会員へ向けてのメッセージ

#### 【研修会等のご担当者へ】

研修会等のお知らせは事務局までご連絡ください

#### 【会員の皆様へ】

現在事務局は人員募集中です。  
ぜひ興味のある方はご連絡ください。

#### 【お願い】

2019年度異動があった会員の方は、日本作業療法士協会のポータルサイトでの変更手続きに加えて、群馬県作業療法士会の事務局にもご連絡ください。

また、新入職の方には、協会、県士会への入会をぜひお勧めしていただけると幸いです。

### 平成30年度 活動報告

- ①新人症例発表会にて、士会組織の説明や各部紹介を実施した
- ②各種表彰(県学会の優秀演題者、学生な優秀学生に対してなど)の実施
- ③チャリティーイベント「リレーフォーライフ」へ参加した 群馬県作業療法士会員32名、学生会員6名参加

### 令和元年の活動計画・抱負

- ①新入会員に対し、士会組織の説明や県士会の説明
- ②各種表彰(県学会の優秀演題者、学生な優秀学生に対してなど)の実施予定
- ③県士会員の福利厚生に関する研修会の企画・実施(リレーフォーライフへの参加等)
- ④「ママ会員の仕事復帰に向けた企画」を推進

### 部の様子や雰囲気、部員内ニュース

群馬県作業療法士会員の皆様の福利厚生面へのフォロー、作業療法士会員同士の交流機会の増加を設け、「作業療法士として成長できるのか」を福利厚生面から企画、運営しています。

部会は年に数回適宜行っていますが、福利厚生部ということもあり、意見を言いやすく、和気あいあい行っています。部員も少数であるため、より部内での話をしやすい状況です。

まずは、10月に企画しているリレーフォーライフジャパンに参加していただき、福利厚生部の行っていることを見て聞いて感じていただけると、当部のことがわかるとと思います。誰でも参加できますので、是非、来てみてください。

### 県士会員へ向けてのメッセージ

群馬県作業療法を福利厚生面から盛り上げたいと思っています。ぜひ、いろいろな企画を挙げて、作業療法士が県士会に入りたくるよう協力していただけたら幸いです。一緒に楽しみながら、群馬県の作業療法を盛り立てていきましょう。



### 平成30年度 活動報告

各委員会の活動費の管理や、決算の作業を行いました。

### 令和元年の活動計画・抱負

今年も間違いがないように決算作業を行ってまいります。

### 部の様子や雰囲気、部員内ニュース

主に事務局にて活動を行っています。事務作業が中心です。

### 県士会員へ向けてのメッセージ

裏方の仕事ですが、やりがいを感じて取り組んでいます。新入部員も募集しています。

## 大学院社会人学生募集中



当研究室は、運動生理学手法を用いた上肢機能解析を中心に、身体障害作業療法分野全般の研究を行っています。ベテランから新人まで多くのOTが仕事と研究を両立、修士・博士課程に在籍しています。身障分野の臨床研究に関心のある方は、ぜひ大学院で自分の可能性に挑戦してみたいはいかがでしょうか。

毎週木曜日の勉強会は一般公開していますので、ご興味のある方はご見学下さい。

群馬大学大学院 保健学研究科  
教授 李範爽  
leebumsuk@gunma-u.ac.jp

## 作業療法士 常勤パート職員 募集

桐生川の畔(ほとり)にたたずむ90床(一般病床39床、療養病床51床)のケアミックス型病院。「地域の人々に信頼され愛される病院」を理念として心を込めた医療サービスを提供しています。

標榜科目:内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳・血管内科、リハビリテーション科、放射線科

脳血管疾患等リハビリテーションIIの施設基準を満たすため有為の作業療法士を募集します。

【勤務地】 桐生市菱町三丁目2,069-1

【勤務時間】 常勤者=8:30~17:30(休憩1時間)

パート=週3日、週24時間以上

【休日】 4週8休(土曜午前勤務はローテーション)

【待遇】 基本給=180,000~300,000円

資格手当=15,000~25,000円

合計(定額分)=195,000~325,000円

その他手当:皆勤=8,000円:住宅=4,000円

パート時給=1,500~2,000円

交通費=20,000円まで

【応募方法】 先ずはお電話下さい。事前見学に来院願います。

【選考方法】 書類、面接

## 医療法人山育会 日新病院

〒376-0001 群馬県桐生市菱町三丁目2,069-1

☎:0277-30-3660 Fax:0277-30-3661

## 投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した...などなど、皆様からの投稿を募集しております。

どんなことでも構いませんので、お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス: dc\_nanohana@yahoo.co.jp  
広報部・ニュース編集グループ  
反町拓海

県士会ホームページアドレス

<http://www.gunma-ot.org/>

## 編集後記

新元号の令和となり、早くも2ヶ月が経ち、あの盛り上がりがいぶ前の事のように感じ、日々の早さに戸惑っている。反面で今年度、広報部にとっては行事が目白押しであり下半期に突入した今、身が引き締まる思いがしている。

今号では昨年度4月に引き続き、県市会各部署の紹介という記事を各部代表の先生方に執筆して頂いた。広報部についても少しずつ新入部員が増えてきているが、少々マンネリ化が見られるのもまた事実。各部についてはいかがだろうか? 会員の皆様におかれましては、今号の記事を少しでも参考にして頂き、県士会の活動に興味・関心の目を向けて頂けたら幸いに思う。通常業務後や休日に時間を割かなくてはいけないことも多いが、他施設・他領域のOTと繋がれる良いきっかけになると思う。先輩後輩、経験問わずにもっともっと群馬県OTを盛り上げていけたら良いと思う。

S

## 群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 中村 真美、関 仁紀、下田 幸、吉澤 一郎 印刷 || 星野印刷株式会社

## 平成30年度 活動報告

学術部は、群馬県内の作業療法に関する学術研究の推進と質の向上を目的として、群馬県作業療法学会における企画運営の支援および学術機関誌の編集・発行、学術研究の学会発表や論文作成の支援を行います。

### ①学会支援グループ(グループ長:野口直人OTR、グループ員:7名)

学会支援グループは、各ブロックの実行委員会と連携し、群馬県作業療法学会の企画運営を行います。また、県学会実行委員が本来の役割である県学会の構想(テーマ、講師の選定等)を中心に活動できるよう、年間スケジュール管理、財務や公文書管理など事務局機能に積極的に関与し、支援を行います。

平成30年度は、北中毛ブロックの実行委員会とともに第21回群馬県作業療法学会を開催しました。

### ②機関誌編集グループ(グループ長:糸井陽祐OTR、グループ員:7名)

機関誌編集グループは、県士会の学術機関誌である「ぐんま作業療法研究」の編集・発行を実施しています。平成30年度より、機関誌と学会誌を合併しての発刊をすることになり、学会支援グループ、学術研究グループとの協力体制を強化しています。当グループの主な業務としては、研究論文や実践報告等の論文投稿募集、投稿論文の査読依頼と調整、原稿の校正と印刷などを行います。昨年は、3編の論文掲載がありました。

### ③学術研究グループ(グループ長:近藤健OTR、グループ員:4名、査読員:33名)

学術研究グループは、学術研究の質向上のため、学会発表を検討している県士会員を対象に勉強会の開催、研究の相談助言を行います。また、県学会における演題と機関誌の投稿論文について査読を行い、学術研究の質を高めるために寄与しています。県学会の査読は教育的査読を心がけています。自身のスキルアップのため、各施設の新人教育の一環として利用していただけるとよいと思います。平成30年度は、学術研究に関する勉強会を開催し、5名の会員が日本作業療法学会(福岡)で発表する予定です。

## 令和元年の活動計画・抱負

令和元年度も、学術部の3グループが目標を共有し連携することで、学術研究の推進と質の向上を推進するとともに、効率的な運営を行います。

①学会支援グループでは、各ブロックの実行委員会が本来の役割である県学会の構想(テーマ、講師の選定等)を中心に活動できるように学会支援グループが年間スケジュール管理、財務や公文書管理など事務局機能に積極的に関与し、支援を行います。

②機関誌編集グループでは、昨年同様に機関誌と学会誌を合併して発刊します。学会開催のスケジュールに合わせての編集作業を進めていきます。また、学会支援グループ、学術研究グループとの連携や、学術部以外との交流等も含めて県士会活動の活性化に寄与できればと考えています。グループ内の定期的な会議の開催や、勉強会など委員自身の知識向上や他領域のOT同士の交流の場にもしていきたいと考えています。

③学術研究グループでは、今年度も会員への学術支援活動を積極的に行い、会員の皆様の研究成果を群馬から全国へ(いずれは世界へ)、発信することを支援していきたいと考えています。

## 部の様子や雰囲気、部員内ニュース

学術部の活動は、あまり目立つことはありませんが、学術活動を県士会員の傍らで支えています。そのスタンスは、作業療法士の得意とする所であり、そこにやりがいを感じている部員も多いように感じます。

## 県士会員へ向けてのメッセージ

学術部では、群馬県内の学術活動を活発にしていくために新しい試みをスタートさせています。その実現のために、一緒に活動してくれる部員を募集しています。

学会運営や機関紙編集、学術研究支援に携わることは、作業療法士として成長するための多くの経験と人脈形成につながり、新しい視界が広がると感じています。学術研究に興味のある方はもちろん、自身の作業療法の在り方に悩んでいる方や臨床経験が浅くて迷っている方なども大歓迎です。参加を希望する方は、下記の連絡先までご連絡ください。是非、一緒に活動しましょう!

(連絡先)学術部 部長 牛込祐樹

群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法専攻

TEL:027-210-1294 FAX:027-260-1294/MAIL: ushigome@shoken-gakuen.ac.jp

## 地域作業療法推進部

執筆▶ 真塩 敦士(NPO法人じゃんけんぼん)

### 平成30年度 活動報告

**地域包括ケア推進G:**介護予防に資する人材育成研修会を県内3ブロックにて実施した。太田市介護予防事業にてサロン講師派遣の調整を行なった。

**認知症支援推進G:**認知症ケア資質向上のための研修会を3回実施した。家族会支援に向けて、家族会会長と情報・意見交換を実施した。

**発達支援推進G:**特別支援学校機能強化事業専門職配置事業を継続実施した。学童保育団体主催研修等への講師派遣を行った。

**精神科領域推進G:**群馬県自殺対策強化事業として研修会等を実施した。精神科OTが主対象の情報交換会を実施した。

### 令和元年の活動計画・抱負

**地域包括ケア推進G:**介護予防に資する人材育成研修会を県内3ブロックにて実施予定である。

**認知症支援推進G:**認知症ケア資質向上のための研修会を実施予定である。

**発達支援推進G:**特別支援学校機能強化事業専門職配置事業等を継続して実施予定である。

**精神科領域推進G:**群馬県自殺対策強化事業として研修会等を実施予定である。

### 部の様子や雰囲気, 部員内ニュース

現在、部員は44名おり、各グループの会議や研修会では、皆で試行錯誤し、意見を出し合いながら取り組んでいます。年に数回懇親会も行っており、とても仲の良い楽しい一面もあります。今年度からは県士会各部との懇親会も企画中です!

### 県士会員へ向けてのメッセージ

私たち地域作業療法推進部は「地域包括ケア推進グループ」「認知症支援推進グループ」「発達支援推進グループ」「精神科領域推進グループ」の4つのグループから構成されています。人材育成のための研修会の開催、サロンへの講師派遣調整など人材派遣に対応するための仕組みづくり、認知症の家族会支援、特別支援学校への専門職配置の調整などの活動や県・市町村との連携を通して、地域貢献可能な作業療法士を育成し、地域で作業療法士が活躍できる・必要とされる状況を作ることを目指しています。

現在、県士会も県単位からブロック単位(東毛、西毛、北中毛)へと、組織へとあり方をシフトさせており、より地域に密着した、身近な組織を目指しています。皆様が暮らす地域で、住民の方が何かにかんづいたとき、「作業療法士に相談してみよう」「それは作業療法士に相談してみたら?」という声が当たり前になるようになるために、地域で活躍する作業療法士を支援する活動と一緒に進んでみませんか?皆様と一緒に活動できるのを楽しみにしております。

## 地域作業療法推進部 発達支援推進グループ

執筆▶ 勝野 恵(群馬県看護協会 訪問看護ステーション高崎)

### 平成30年度 活動報告

・地域の保育園や幼稚園、小中高校に伺い、お子さんやご家族、先生の困っていることになぜ課題が起きるかをお話し、解決できるよう進めました。

・ホームページ担当を決めて、勉強会の中で生活の知恵袋となることを提案し、発信を進めました。

・教員が学校で使用する評価表の作成に協力しました。

・乳幼児健診や保健師の研修会に講師を配置しました。

・学童保育団体主催研修への講師派遣を行いました。

### 令和元年の活動計画・抱負

・今年度から六本木グループ長が新しく就任しました。今までの活動内容を尊重しつつ、新たに研修を企画し啓蒙活動を進めています。新生の発達グループが無事に軌道に乗れるように、今年ががんばります。

### 部の様子や雰囲気, 部員内ニュース

・年6回勉強会を行っています。会場となるanomiraは緊張しやすい子ども達が居心地よく過ごせるための工夫が至るところにあるので、私たちも気持ちよく参加しています。勉強会では、学校などに訪問していく中で課題の抽出や対応策、ホームページに載せる知恵袋として使いやすい文房具など、皆で知恵を出し合っています。

### 県士会員へ向けてのメッセージ

・私たちは発達過程の子ども達のできないことをできるようにしようという発想ではなく、希望や可能性を広げていこうというスタンスで進めています。子ども達が孤立せず、家族の中で可愛がられて、社会の中で力を発揮できるように、一緒に活動を進めてくださる方を募集しています。ぜひ一度奇数月の第2木曜日19時anomiraまでお越しください!